

三菱電機
パッケージエアコン
別売部品

蒸気スプレー式加湿器

形名

PAC-CL35SS

もくじ

安全のために必ず守ること	2
1. 部品	6
2. 取付要領	6
3. 配線要領	7
4. その他	10

取付説明書（販売店・工事店様用）

このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付工事が必要です。取付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

- ・ ご使用前に、この取付説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この取付説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。
- ・ 「取付説明書」は大切に保管してください。
- ・ お客様ご自身では、取付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- ・ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般注意)



(発火注意)



(感電注意)



(高温注意)



(一般指示)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告

電気配線工事は「第一種電気工事士（工事条件によっては第二種電気工事士）」の資格のある者が行うこと。

一般事項

警告

改造はしないこと。

- 水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、関係するユニットすべての主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



感電注意

運転中および運転停止直後の本品・ベーパーパン本体・ヒーター本体・スプレー本体・冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

⚠ 注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



接触禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

作業するときは保護具を身につけること。

- ◆ けがのおそれあり。



けが注意

水回路の温度が0℃以下になるところに加湿器を設置しないこと。

- ◆ 水回路凍結によりユニットが損傷するおそれあり。
- ◆ 水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



指示を実行

据付工事をするときに

⚠ 警告

梱包材は廃棄すること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を実行

付属品の装着や取り外しを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒が漏れ、酸素欠乏・発煙・発火のおそれあり。



指示を実行

梱包材は破棄すること。

- ◆ 窒息事故のおそれあり。



指示を実行

三菱電機指定の部品を使用し、取り付けは販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 水漏れ・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

販売店または専門業者が取付説明書に従って取り付け工事を行うこと。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

販売店または専門業者が当社指定の別売品を取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

配管工事をするときに

⚠ 警告

現地配管が部品端面に触れないこと。

- ◆ 配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れのおそれあり。



指示を実行

⚠ 注意

配管は断熱すること。

- ◆ 結露により、天井・床がぬれるおそれあり。



指示を実行

コーキングをすること。

- ◆ 不備がある場合、床がぬれるおそれあり。



指示を実行

電気工事をするときに

警告

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- ◆ 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆ 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

電源用端子台に単線とより線や異なったサイズの配線を併用して使用しないこと。

- ◆ 使用した場合、ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

配線端子のねじは規定のトルクで締めること。

- ◆ ねじ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

取り付けをする場合、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。



感電注意

注意

配線が冷媒配管・部品端面に触れないこと。

- ◆ 配線が接触した場合、漏電・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

移設・修理をするときに

警告

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。分解・改造はしないこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

注意

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

- ◆ 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

運転を開始する 6 時間以上前に電源を入れてください。

- ◆ ユニット運転期間中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

電源配線には専用回路を使用してください。

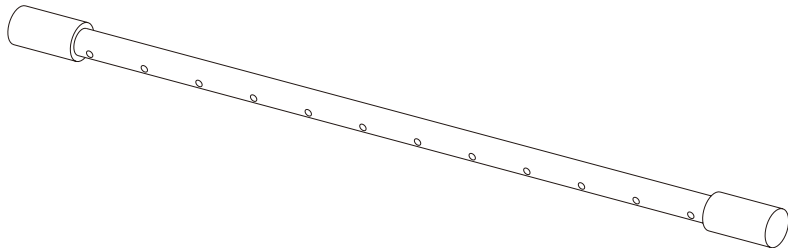
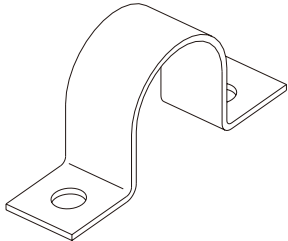
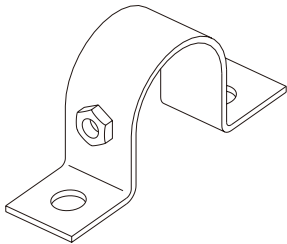

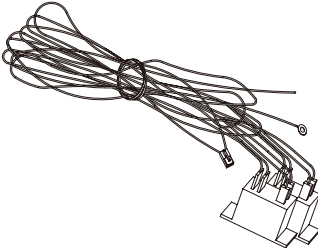
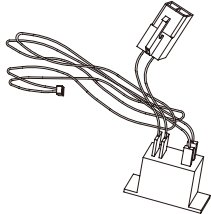
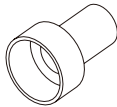

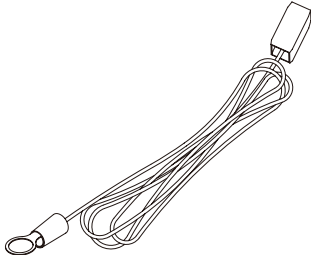
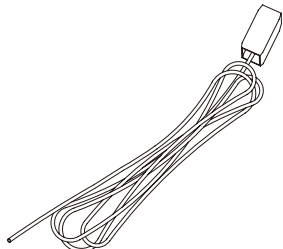
- ◆ 使用しない場合、電源容量不足のおそれあり。

設備の重要度により電源系統を分割するか漏電遮断器・配線用遮断器の保護協調を取ってください。

- ◆ 製品側の遮断器と上位の遮断器が共に作動するおそれあり。

1. 部品

この箱には、この説明書のほか下記部品が入っていますのでご確認ください。

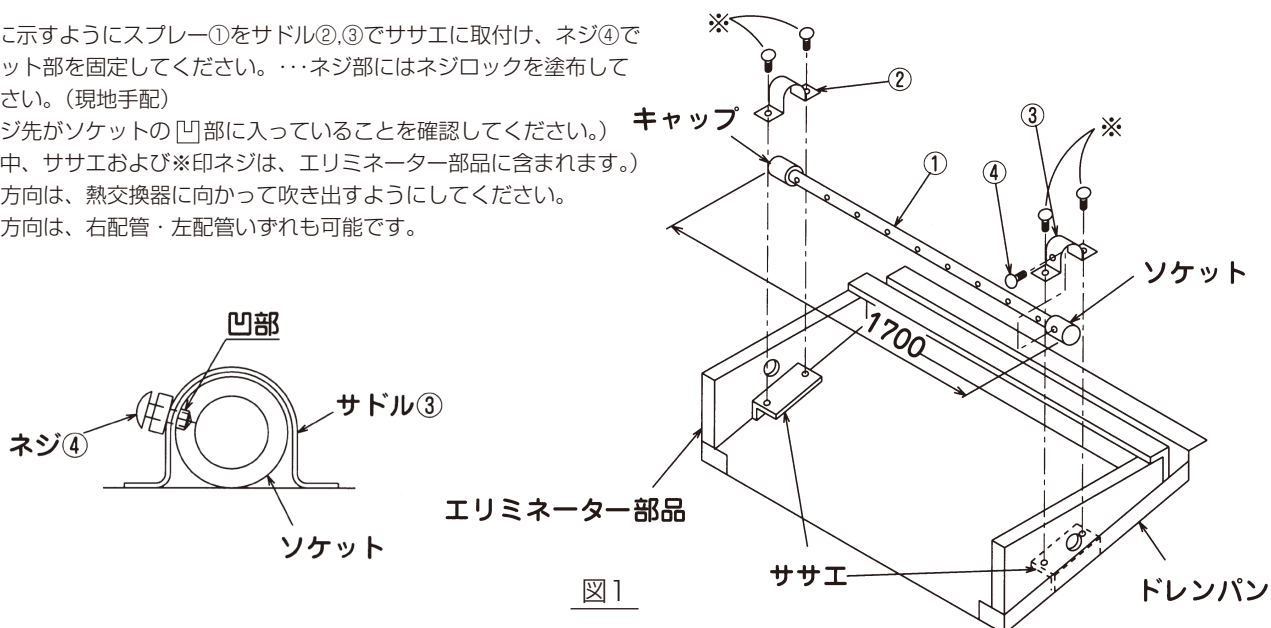
品名	①スプレー本体			②サドル
形状				
個数	1			1
品名	③サドル M5ナット付	④ネジ (大)	⑤リレー	⑥リレー
形状				
個数	1	2 (予備1個)	1	1 <small>制御基板枚数が 1枚または3枚の場合。</small>
品名	⑦閉端接続子	⑧ネジ (小)	⑨配線A	⑩配線B
形状				
個数	1	7 (予備1個)	1	1

※必ず製品本体は電源を切り、安全のために軍手等保護具を着用のうえ、実施してください。

2. 取付要領

蒸気スプレーは別売エリミネーター部品 (PAC-CM36・37EN) に取付け、本体内に組み込みます。

- 図1に示すようにスプレー①をサドル②、③でササエに取付け、ネジ④でソケット部を固定してください。…ネジ部にはネジロックを塗布してください。(現地手配)
(ネジ先がソケットの凹部に入っていることを確認してください)
(図中、ササエおよび※印ネジは、エリミネーター部品に含まれます。)
- 噴霧方向は、熱交換器に向かって吹き出すようにしてください。
- 配管方向は、右配管・左配管いずれも可能です。



3. 配線要領

[製品本体の制御基板枚数2枚の場合]

- (1) リレー⑤の取付け
 - 1) 製品本体の下にある制御箱カバーを取外してください。(ネジ3本)
・・・図2
 - 2) リレー⑤をタッピンネジ⑧にて取付けてください。(ネジ2本×2カ所)
・・・図3
- (2) 配線接続

- 1) リレー⑤、電磁弁、湿度調節器からの配線を図3、図4、図5を参照して接続してください。
- ※湿度調節器(23HS)を使用しない場合は、端子台のA1とA3を短絡してください。(配線は現地手配)
ただし、その場合は必要以上に加湿されることがあります。

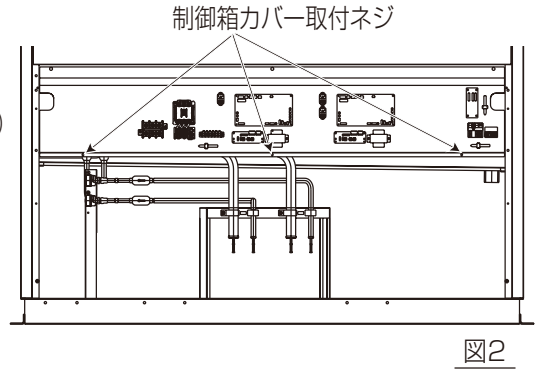


図2

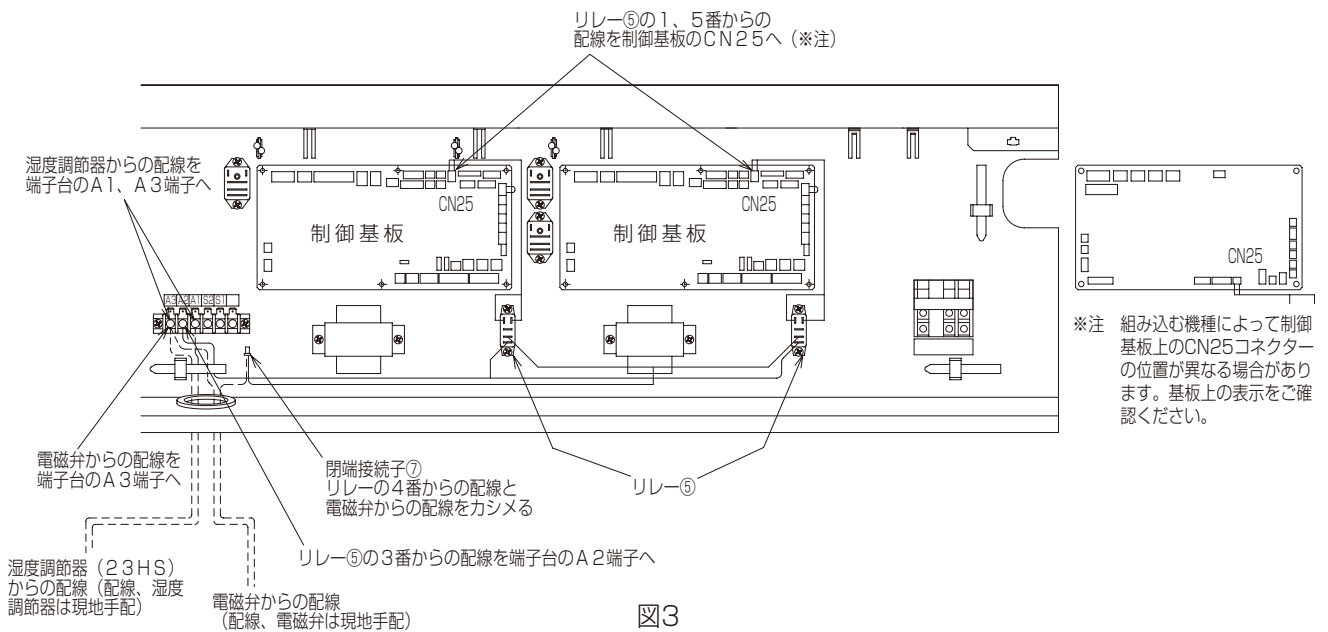


図3

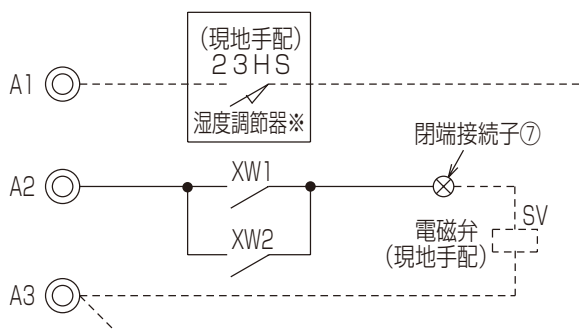


図4

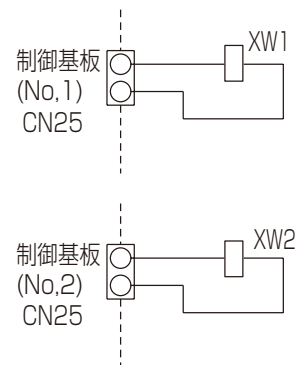


図5

[製品本体の制御基板枚数が1枚の場合]

(1) リレー⑥の取付け

- 1) 製品本体の下にある制御箱カバーを取外してください。
(ネジ3本)・・・図2
- 2) 下記手順に従い配線の差し換えを行ってください。
・・・図6
 - a) リレー⑥の3番端子、4番端子より配線を外します。
 - b) 外した3番端子に配線A⑨を、4番端子に配線B⑩を取付けてください。
- 3) 配線差換品のリレーをタッピンネジ⑧にて取付けてください。(ネジ2本)・・・図7

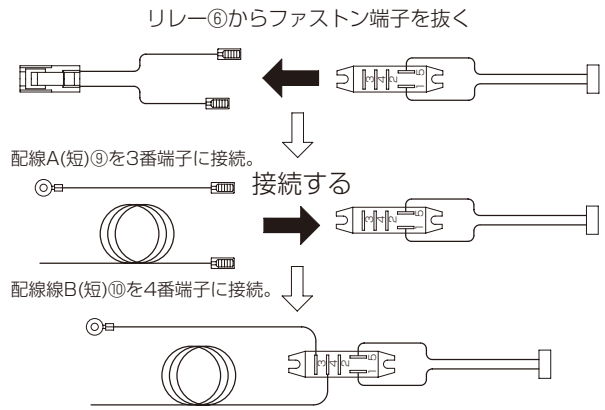


図6

(2) 配線接続

- 1) リレー⑥、電磁弁、湿度調節器からの配線を図7、図8、図9を参照にして接続してください。
- ※湿度調節器(23HS)を使用しない場合は、端子台のA1とA3を短絡してください。(配線は現地手配)
ただし、その場合は必要以上に加湿されることがあります。

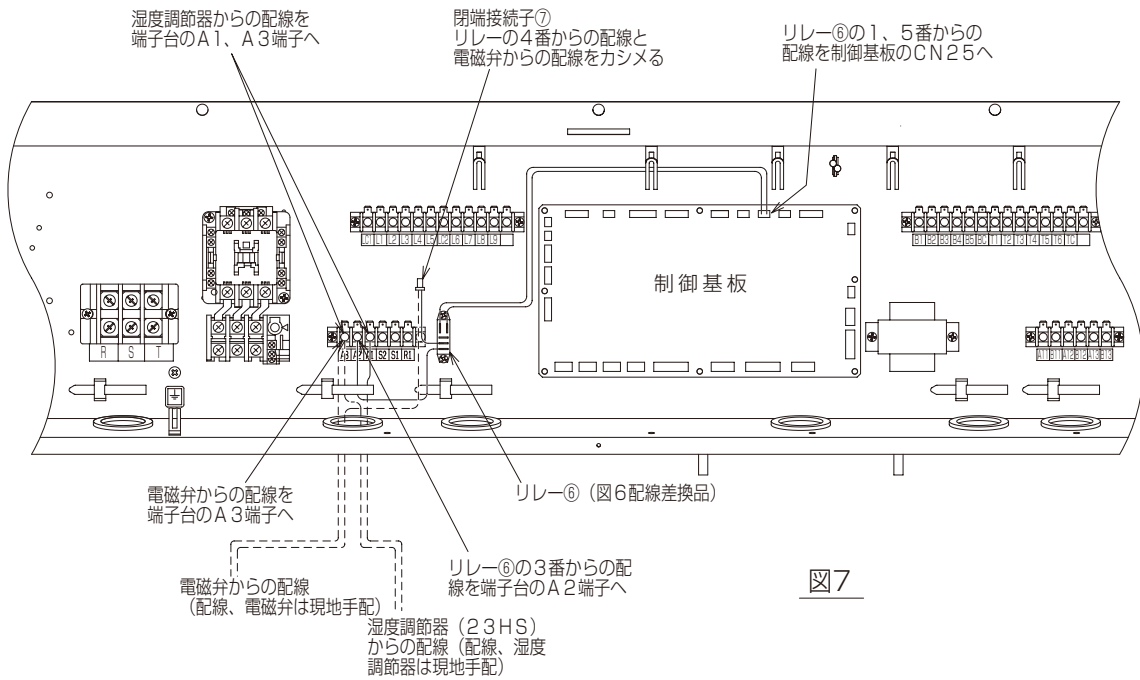


図7

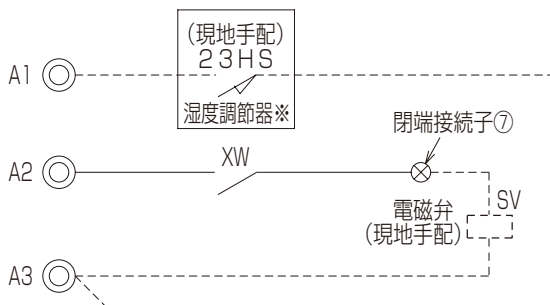


図8

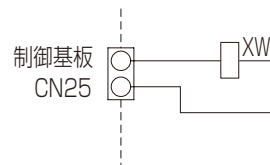


図9

[制御基板数3枚の場合]

(1) リレー⑤・⑥の取付け

1) 製品本体の下にある制御箱カバーを取外してください。(ネジ3本)

・・・図10

2) リレー⑤・⑥をタッピンネジ⑧にて取付けてください。(ネジ2本×3カ所)

・・・図11

(2) 配線接続

1) リレー⑤・⑥、電磁弁、湿度調節器からの配線を図11、図12、図13を参照して接続してください。

※湿度調節器(23HS)を使用しない場合は、端子台のA1とA3を短絡してください。(配線は現地手配)

ただし、その場合は必要以上に加湿されることがあります。

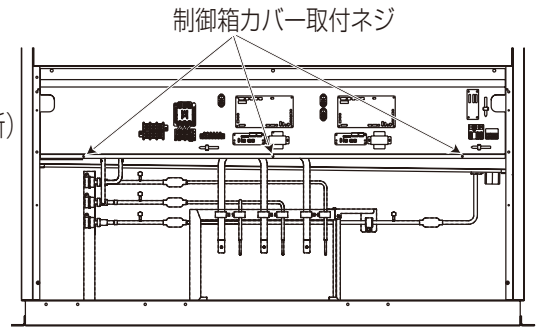


図10

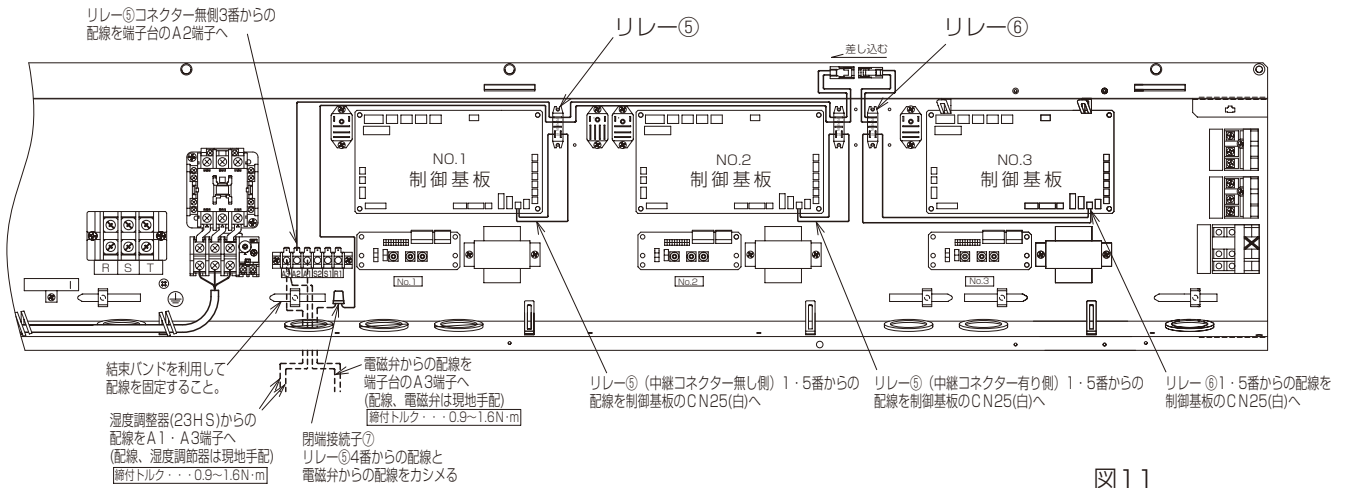


図11

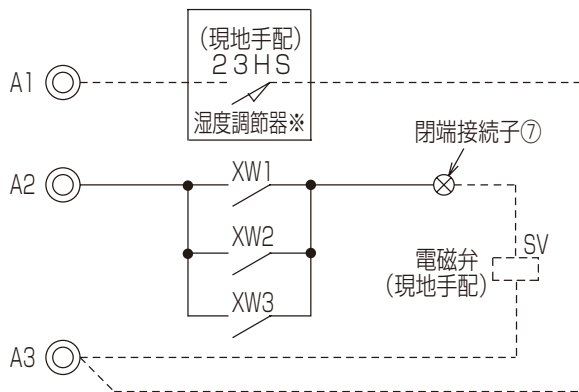


図12

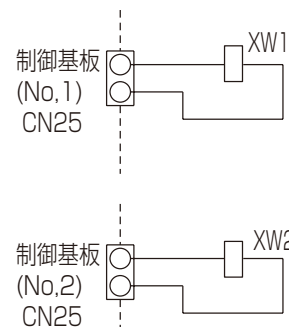
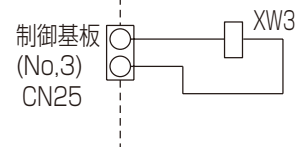
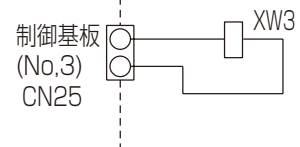


図13



制御基板
(No,2)
CN25



制御基板
(No,3)
CN25

4. その他 冷房運転での加湿はできません

- 1) ストップバルブ、電磁弁（または塞止弁）は必ず設けてください。
また、必要以上に加湿しないように湿度調節器（23HS）を使用し、適切な湿度に設定してください。
- 2) 蒸気圧力は、0.04MPa以下としてください。
- 3) 運転中は定期的にノズルからの噴霧状態、各配管接続部からの蒸気・水漏れ有無などを点検してください。
- 4) 噴霧不良およびシーズンインや長期休止時には、蒸気スプレー内を点検し、汚れがひどい場合には分解し、掃除してください。
- 5) 夜間等ユニット停止時に凍結するおそれのある場合や、外気の影響で凍結するおそれがあるオールフレッシュ形に組込む場合は、適切な凍結防止処置を施してください。

※蒸気スプレーを組込む場合、サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品本体制御基板のDIPスイッチを下記の設定で
ご使用ください。

サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が
結露し、機外に露が飛び出る場合があります。

	DIPスイッチ設定
PFAK、PFTK形以外	SW1-6：OFF【制御基板全てに設定】（出荷時の設定どおり）
PFAK、PFTK形	SW4-6：OFF（出荷時の設定どおり）

MEMO

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所

WT03843X06